



平成30年 4月17日

千葉県経済記者会ご担当者 各位

千葉商工会議所

## 「高齢者活用に関する実態調査」の結果について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素から当所事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、有効求人倍率がバブル期並みの水準になるなど、人手不足感が強まっており、特に中小企業にとって、若年層を中心とした人材の確保が難しくなっています。

そこで、当所では、多様な人材の活用を支援するための一環として、昨年9月から専門の相談窓口を設置し、十分に活用が図られていない60歳以上の高年齢者の、地元中小企業への就職の促進を図っているところです。

今後、こうした高年齢者の活用を更に進めていくにあたっての参考とするため、会員企業の「高齢者活用に関する実態調査」を実施し、下記のとおり取りまとめました。

つきましては、調査結果について貴紙にてご紹介いただきたく、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

### 記

#### 1. 調査方法

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| (1) 調査期間 | 平成29年11月9日(木)～平成30年2月28日(水) |
| (2) 調査対象 | 当所会員の中小企業(従業員20名以上) 817社    |
| (3) 回答数  | 172社                        |
| (4) 回答率  | 21.1%                       |

#### 2. 結果概要

別紙のとおり

本件に関するお問い合わせ先  
企画広報課(瀬田)  
電話: 043-227-4101

## (別紙) 結果概要

- 定年年齢を「60歳」としている企業は77.8%、「65歳」としている企業は17.7%、「その他」としている企業は4.4%。
- 定年後の継続雇用制度を「設けている」企業は98.7%、「設けていない」企業は1.3%。
- 継続雇用時の雇用形態は、「短時間労働者」が57.4%、「正社員」が29.7%、「どちらもあり」が12.9%。
- 60歳以上の従業員の比率は、「0～10%」が55.9%と最も高く、次点は「11～20%」が18.2%、「21～30%」が8.8%と続いた。
- 60歳以上の従業員の職種は、「作業/製造」が40.0%と最も高く、次点は「専門職種の事務職」が38.8%、「役員/管理部門」が31.3%と続いた。(複数回答)
- 高齢者活用の課題としては、「体力面」が62.1%と最も高く、次点は「年齢層のバランス」と「労働意欲の低さ」が同率の17.4%と続いた。(複数回答)
- 高齢者の活用を進めるにあたって必要な情報としては、「高齢者の情報」が39.1%で最も高く、次点は「活用事例」が35.8%、「給与水準」が35.1%と続いた。(複数回答)